

名古屋城天守閣木造復元 市民向け説明会

資料冊子

目次

・名古屋城全体図	1
・事業の経緯	3
・基本設計その他の業務の内容	8
・実施設計業務の内容	9
・有識者会議の開催状況と主な内容	10
・バリアフリーの検討	12
・天守台周辺石垣	16
・機運醸成	21
・経費	23

名古屋城全体図

名古屋城は、国内屈指の城郭として国の**特別史跡**に指定されています。
特別史跡とは、文化財保護法により指定された史跡のうち、特に価値が高いと認められるもので、国宝と同格とされています。



事業の経緯

時期	主な内容
平成27年12月	天守閣整備事業に係る公募型プロポーザル実施公告
平成28年 3月	優先交渉権者の決定
平成29年 5月	竹中工務店と基本協定及び 基本設計その他業務委託契約の締結
7月	・天守台石垣調査を開始 ・天守閣木造復元への寄附（金シャチ募金）の開始
平成30年 4月	実施設計業務委託契約の締結
5月	「木造天守閣の昇降に関する付加設備の方針」の公表
7月	木材（主要な構造部材）の手配・製材の契約締結
10月	文化庁文化審議会の諮問に至らなかったことを表明

時 期	主 な 内 容
平成31年 2月 1日	市長文化庁訪問 ・現天守閣の耐震性が極めて低く危険であるため、先行して解体の許可を得たい旨の申し入れ
4月 1日	名古屋城調査研究センター発足
4月19日	現天守閣解体の現状変更許可申請書を文化庁に提出
令和元年 5月17日	5月文化審議会
5月29日	文化庁から現状変更許可申請に対する確認事項が示される
6月19日	確認事項回答書を文化庁へ提出
6月21日	6月文化審議会

3

時 期	主 な 内 容
令和元年 6月21日	市長記者会見 ・現状変更許可申請が答申にまで至らなかった ・工期の見直しも含め竹中工務店、文化庁、地元有識者と協議を進める旨を表明
7月19日	7月文化審議会
8月29日	市長記者会見 ・事業を進めていくためには、クリアすべき調査・検討に全力を挙げて取り組む必要があると考え、竣工時期を延ばすことを公表
9月24日	文化庁より現天守閣解体の現状変更許可申請に対する文化審議会からの指摘事項の説明を受ける
令和2年 3月 2日	「名古屋城展示収蔵施設（仮称）外構工事」において特別史跡のき損事故発生

4

時 期	主 な 内 容
令和2年 3月27日	市長記者会見 ・き損事故への対応に最優先で取り組み、その上で、木造天守に関し一つ一つ課題を確実にクリアし、少しでも早く竣工できるよう取り組んでいくと述べる
3月31日	特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議に「新たな工程の素案」を諮る
6月26日	「特別史跡名古屋城跡における遺構のき損事故再発防止対策」を文化庁に提出
9月	9月定例会（本会議） ・文化庁からの指摘事項に対する調査、検討を年度内に完了させ、令和3年4月に回答をしていくことを答弁
令和3年 2月 9日	全体整備検討会議にて「本丸整備基本構想及び天守整備基本構想」の内容について合意形成

5

時 期	主 な 内 容
令和3年 3月 2日 ～7日	天守台西側の内堀内での調査で見つかった、築城期に築かれた2条の石列を公開
3月30日	全体整備検討会議にて「現天守閣解体申請に対する文化庁からの指摘事項への対応」の内容について合意形成
5月 6日	「特別史跡名古屋城跡現天守閣解体申請に対する文化庁からの 指摘事項への回答 」を文化庁へ 発送
5月21日	文化審議会文化財分科会に指摘事項への回答が報告され、第三専門調査会にて調査されることになる
6月18日	第三専門調査会の調査結果が、文化審議会文化財分科会に報告され、 文化審議会文化財分科会からの所見が本市へ伝えられる

6

時 期	主 な 内 容
令和4年 3月31日	全体整備検討会議において「特別史跡名古屋城跡現天守閣解体申請に対する文化庁からの指摘事項への追加回答」の内容について合意形成
4月18日	「名古屋城木造天守の昇降技術に関する公募」を開始
5月17日	「特別史跡名古屋城跡現天守閣解体申請に対する文化庁からの指摘事項への追加回答」を文化庁へ発送
5月20日	文化審議会文化財分科会に指摘事項への追加回答が報告され、その後、第三専門調査会にて調査されることになる
6月20日	文化審議会文化財分科会からの所見が本市へ伝えられ、文化庁からの指摘事項に区切り
7月・11月・12月 ・令和5年1月	「特別史跡名古屋城跡木造天守整備基本計画」について有識者会議で議論

7

基本設計その他業務の内容

項 目	内 容
基本設計業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 史資料に基づく焼失前の天守の姿の作成 ・ 防災、避難方針の作成 ・ 構造解析の方針の作成 ・ 付加設備の方針の作成 ・ 通し柱の位置、柱や梁などの樹種、仕口・継手の決定 ・ 屋根、壁の仕様の検討
法的手続き書類作成業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現状変更許可手続きに必要な資料作成 ・ 消防法手続きに必要な資料作成
その他設計業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仮設建築物等の設計図の作成
調査業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 史実調査、地盤調査、石垣調査、発掘調査

8

実施設計業務の内容

項目	内容
設計業務	<ul style="list-style-type: none"> ・設計図作成（建築、設備、外構、石垣） ・構造解析 ・各種実証実験 ・現状変更許可手続きに必要な書類作成 ・建築基準法第3条適用手続きに必要な書類作成 ・消防法その他関係法令手続きに必要な書類作成 ・積算業務 ・施工技術検討業務
調査業務	<ul style="list-style-type: none"> ・史実調査、現天守閣記憶伝承調査、地盤調査、石垣調査、有害物質調査

9

有識者会議の開催状況と主な内容

（令和4年1月～12月開催、天守閣整備事業に関するものを抜粋）

<全体整備検討会議>

開催日	主な内容
3/31	<ul style="list-style-type: none"> ・現天守閣解体申請に対する文化庁からの指摘事項への追加回答について ・木造天守復元の全体計画策定に係る令和4年度の想定スケジュールについて ・名古屋城木造天守の昇降技術に関する公募について
5/13	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業予定について
6/3	<ul style="list-style-type: none"> ・天守台穴蔵石垣試掘調査成果について
6/11	<ul style="list-style-type: none"> ・天守台穴蔵石垣背面調査について
8/5	<ul style="list-style-type: none"> ・天守台穴蔵石垣背面調査について
10/7	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴の首（小天守西）の水堀側石垣根石発掘調査について ・特別史跡名古屋城跡石垣保存方針について
12/9	<ul style="list-style-type: none"> ・「特別史跡名古屋城跡木造天守整備基本計画（案）」の中間報告について ・天守台穴蔵石垣試掘追加調査等の調査成果について ・「名古屋城木造天守の昇降技術に関する公募」の結果について

10

< 天守閣部会 >

開催日	主な内容
7/13	・今後のスケジュールと進捗管理について ・木造天守整備基本計画（解体と復元を一体とした全体計画）について
11/2	・木造天守整備基本計画について

< 石垣・埋蔵文化財部会 >

開催日	主な内容
2/17	・小天守西側の調査分析結果について
3/24	・御深井丸側内堀石垣の保存対策について ・小天守西側の調査分析結果について ・天守台石垣の保存方針について
5/22	・天守台穴蔵石垣背面調査について ・天守台穴蔵石垣試掘調査成果について
7/15	・天守台穴蔵石垣背面調査について
9/7	・鶴の首（小天守西）の水堀側石垣根石発掘調査について
11/18	・不明門北土橋石垣根石発掘調査について ・天守台穴蔵石垣試掘追加調査等の調査成果について

< バリアフリー検討会議 >

開催日	主な内容
3/29	・名古屋城木造天守の昇降技術に関する公募について

11

バリアフリーの検討

- 「木造天守閣の昇降に関する付加設備の方針」 の概要
(H30.5.30公表)

基本方針

史実に忠実に復元するためエレベーターを設置せず、
新技術の開発などを通してバリアフリーに最善の努力をする

様々な工夫により、可能な限り上層階まで昇ることができるよう目指し、
現状よりも天守閣のすばらしさや眺望を楽しめることを保証する

新技術の開発には、国内外から幅広く提案を募る

障害者団体等当事者の意見を丁寧に聞くことにより、
誰もが利用できる付加設備の開発を行う

12

○高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の一部を改正する法律案に対する附帯決議

(令和2年5月12日 参議院国土交通委員会)

政府は、本法の施行に当たり、次の諸点について適切な措置を講じ、その運用に万全を期すべきである。

～中略～

十八 障害者権利条約に則り、歴史的建造物のバリアフリー化を進めるため、歴史的建造物を再現する場合等におけるバリアフリー整備の在り方について、高齢者、障害者等の参画の下検討が行われるよう、必要な措置を講ずること。

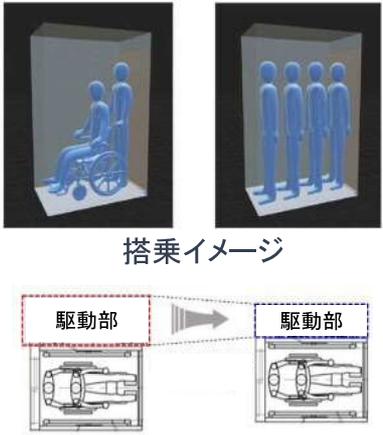
バリアフリーの検討

○公募の審査結果

提案事業者	提案技術	点数	最優秀者	
株式会社MHI エアロスペース プロダクション	垂直昇降設備	・フェリー等の船舶内及び航空機搭乗機材への導入実績のある技術をベースに開発する垂直昇降設備	857.7	○
ティーケー・ホーム ソリューションズ・ ジャパン株式会社	階段昇降機 (いす型)	・階段部にレールを設置し、そのレールの形状に沿って駆動するいす型階段昇降機	645.3	
CYBERDYNE 株式会社	アシストスーツ及び 階段昇降機(自動 昇降車いす型)	・装着車の姿勢や動きをアシストする装着型ロボット ・平地と階段の両方を移動する搭乗型ロボット	528.0	
凸版印刷株式会社	遠隔体験技術	・配信者が撮影している城内の映像を、大型ディスプレイ等を通じてコントローラーや音声でコミュニケーションをとりながら遠隔体験する技術	最低要求水準未達	

バリアフリーの検討

○最優秀者の提案技術

最優秀者	株式会社MHエアロスペースプロダクション	
提案技術 の主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・1階毎に昇降する設備を各階に設置 ・大天守内部の昇降が可能な 垂直昇降設備 ・復元する木造天守の、地震時等に通常の建築物より大きく揺れるという課題に対応可能 ・車椅子利用者1名と介助者1名、もしくは非車椅子利用者4名の搭乗が可能 ・船舶等への導入実績のある垂直昇降設備をベースに開発し、柱・梁の間に収まる大きさにダウンサイジング 	 <p>搭乗イメージ</p> <p>ダウンサイジングのイメージ</p>

15

天守台周辺石垣

天守台周辺石垣調査の実施状況

時期	内容
平成29年度	天守台周辺石垣の調査を実施（～平成30年度） ・天守台石垣の現況を把握し、保存の考え方を整理する目的
令和元年度	内堀堀底の発掘調査、レーダー探査を実施
令和2年度	令和元年度実施したレーダー探査結果を基に堀底の遺構の残存状況、根石の安定性を確認する発掘調査を実施
	御深井丸及び小天守西側の地下遺構の残存状況を把握するための調査を実施
令和3年度	御深井丸側石垣等安定性調査を実施（石垣の修復方針検討の視点からの調査）
	天守台穴蔵石垣試掘調査を実施
令和4年度	天守台穴蔵石垣背面調査
	橋台発掘調査
	天守台周辺石垣対策計画の検討

16

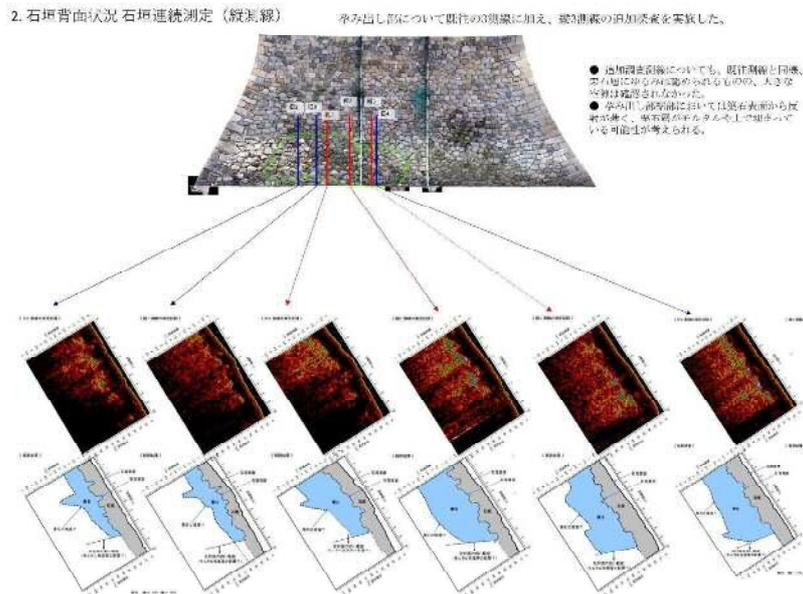
天守台周辺石垣の調査内容

調査種別	調査内容	内容
石垣測量	(1) 石垣立面図作成	正面図を作成
	(2) 石垣縦横断面図作成	縦と横の断面図をそれぞれ作成
	(3) 石垣平面図作成	平面図を作成
	(4) 石垣オルソ作成	オルソ（正射写真）を作成
	(5) 石垣三次元点群データ作成	三次元レーザースキャナにより、三次元のデータ作成
	(6) 可視化図作成	孕み出しの量等を可視化した図面を作成
石垣現況調査	石垣現況（健全性）調査	孕み出しや間詰石の欠落など、現況を目視により確認
	石垣カルテ作成	石垣の面ごとに現況を記録したカードを作成
	石材調査	一石ごとに石種、加工状況などを調査
	石材劣化度調査	一石ごとの劣化状況を目視と打音により調査
	石垣レーダー探査	レーダー探査により、築石の背面状況を調べる
	ビデオスコープ調査	築石の間にビデオスコープを差し込み、背面状況を確認
発掘調査	目視詳細調査	石垣の修復方針の検討という視点での調査
	発掘調査	石垣の基底部分（根石）を調べるために発掘調査
モニタリング		石垣の変動（動き）を観測する
史実調査		石垣の歴史的経緯について文献、写真などを調査

17

天守台周辺石垣の調査

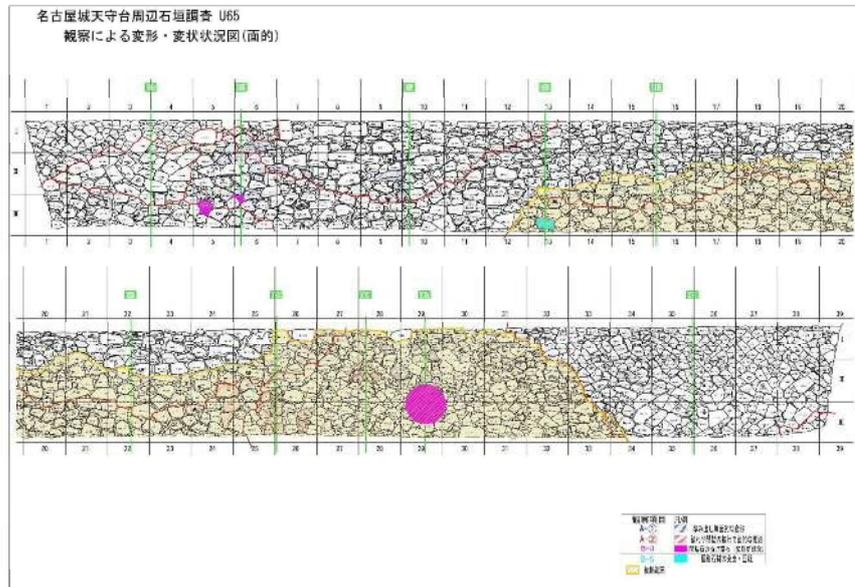
<石垣レーダー探査> 石垣の変形部分について、背面の状況を確認した



18

天守台周辺石垣の保存・修復検討

<石垣 変形変状 状況図> 修復の必要性の観点から石垣面の変形状況を確認した面的な変形や間詰石の抜け落ちを記録している



19

天守台穴蔵石垣の調査

<穴蔵石垣前面の状況(南から)>



20

機運醸成

○金シャチパートナー

名古屋城天守閣木造復元の推進を図るため、ともに盛り上げてくださる企業・団体等（金シャチパートナー）を募集しています。

<金シャチパートナー>

株式会社伊藤園名古屋支店	森永製菓株式会社	トヨタファイナンス株式会社
コカ・コーラボトラーズ ジャパン株式会社	株式会社クレディセゾン 東海支社	エコウッズカンパニー
株式会社コロパン	株式会社坂角総本舗	岩手県森林組合連合会
株式会社サガミチェーン	盛田金しゃちビール株式会社	株式会社エムアイカード
株式会社三晃社	イオンリテール株式会社 東海カンパニー	株式会社秋田屋
中北薬品株式会社	呉竹商事株式会社	株式会社エコトップ
バイングローバル	株式会社自然素材生活	株式会社浅井商店
株式会社松河屋	株式会社JTB コミュニケーションデザイン	金虎酒造株式会社
工房邦	アサヒ飲料株式会社 中部北陸支社	株式会社ハーモニック
株式会社大善	E C O エナジー株式会社	一般財団法人名古屋城振興協会
株式会社薦茂旅館	株式会社クオカード	イーバイエイト株式会社
山勝染工株式会社		



金シャチパートナーによる
寄附贈呈式

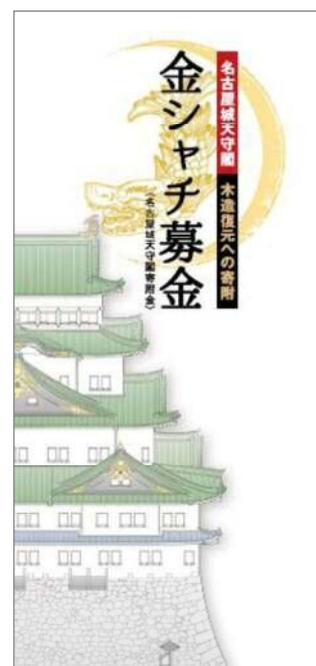
21

○寄附金額の実績

年度	寄附金額
平成29年度	207,357,485円
平成30年度	131,783,050円
令和元年度	62,495,813円
令和2年度	78,604,761円
令和3年度	103,564,008円
計	583,805,117円

ご支援いただき、ありがとうございます。

いただいたご寄附は、木材の製材等に
使わせていただいています。（令和3年度末時点）



22

経費

- 平成28年度～令和3年度における
名古屋城天守閣木造復元に係る経費

年度	決算額
平成28年度	218,147円
平成29年度	1,036,317,705円
平成30年度	3,349,427,705円
令和元年度	2,176,650,409円
令和2年度	312,865,062円
令和3年度	431,409,736円
計	7,306,888,764円

